

第 41 期第 13 回理事会議事録

日 時：2021 年 12 月 1 日（水） 13 時 00 分～16 時 00 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議）

出席理事：佐藤薫，橋田俊彦，青柳暁典，池上雅明，植田宏昭，榎本剛，齋藤篤思，
佐藤正樹，竹見哲也，坪木和久，中村尚，橋本明弘，早坂忠裕，平松信昭，
廣岡俊彦，堀之内武，渡部雅浩，以上 17 名（理事数現在 20 名）

出席監事：吉田聡，以上 1 名

その他の出席者：勝山税，齋藤誠一郎，山田眞吾（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会 39，退会 20 を全会一致で承認した。2021 年 11 月 30 日現在，会員数 3,317 名で
個人会員は 3,123 名。

2) 第 41 期第 12 回理事会議事録の確認。

全会一致で承認した。

2. 報告事項

1) 各 WG からの報告

① 財政改善検討 WG

今期にあと 2 回開催予定。大会や天気等について議論する。

② 日本気象学会各賞のあり方検討 WG

11 月 12 日に第 1 回会合を開催。各賞の問題点，アイデア出しを行い，たたき台を
作成した。次回は 12 月 13 日に開催予定。

2) 業務執行理事の報告

庶務担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・ 転載許可

①申請者：Guergana Guerova, Associate Professor Department of Meteorology and
Geophysics, Physics Faculty, Sofia University

転載元：Characteristics of the Water Vapor Field over the Kan to District
Associated with Summer, Thunderstorm Activities, Hanako Y. Inoue, Toshiro
Inoue, SOLA, Vol. 3, pp. 101-104, 2007.

転載先："Global Navigation Satellite System Monitoring of the Atmosphere" ,
[https://www.elsevier.com/books/global-navigation-satellite-system-
monitoring-of-the-atmosphere/guerova/978-0-12-819152-1](https://www.elsevier.com/books/global-navigation-satellite-system-monitoring-of-the-atmosphere/guerova/978-0-12-819152-1) Elsevier 社

②申請者：日本エヌ・ユー・エス株式会社

転載元：日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集, D159, 143 ページ

著者：川瀬宏明，津口裕茂，今田由紀子，村田昭彦，野坂真也，仲江川敏之，
清野直子，高薮出

タイトル：近年の気温上昇が平成30年7月豪雨に与えた影響

掲載図：図1 東日本から西日本の陸上で平均した積算降水量の時間変化

転載先：環境省 気候変動影響評価 報告書 概要版（今年度発行予定。環境省ホームページより公開）

・後援名義等使用依頼受付

① 名称：第6回 WEATHER-Eye オープンフォーラム

主催：気候影響防御技術コンソーシアム（略称：WEATHER-Eye コンソーシアム）

期日：2021年12月14日

場所：会場を使用しないオンライン方式

名義：後援

② 名称：第9回国際地学教育会議（IX GeoSciEd）

主催：国際地学教育機構（IGEO: International Geoscience Education Organization）

期日：2022年8月21～25日

場所：島根県松江市「くにびきメッセ」（島根県コンベンションセンター）

名義：後援

③ 名称：第7回理論応用力学シンポジウムー力学のさらなる発展に向けてー

主催：日本学術会議 機械工学委員会会合・総合工学委員会・土木工学・建設学委員会合同 理論応用力学分科会

期日：2022年3月11日

場所：日本学術会議講堂＋オンライン開催

名義：共催

・寄付者リスト（2021.10.5～2021.11.30）

なし

会計担当理事・・・以下の内容が報告された。

・2021年9、10月分の収支及び現預金検査報告。

・流動資金（運転資金）の月ごとの推移

企画調整担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・定時社員総会のオンライン方式の導入と開催概要案について。

・夏の学校実施報告書。

3) 委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

・2021年度秋季大会の準備状況。

・2022年度春季大会の準備状況。春季大会の一部として5月21日に真鍋先生の特別シンポジウムを開催する。

・参加申込受付システムをイベント決済サービス「イベントペイ」に移行する。

天気編集・・・以下の内容が報告された。

・Vol.68 No. 10, 11, 12, Vol.69 No. 1 (2021年10, 11, 12月, 2022年1月)の掲載記事と, vol. 69 No. 2, 3 (2022年2, 3月)の予定記事の報告。

・掲載料免除申請。

気象集誌・・・以下の内容が報告された。

・2021年気象集誌論文賞について。選考規程に従って厳正に審査した結果, 2編を選定した。

・Vol. 99 No. 6 (2021年12月)の掲載予定論文。

・審査中の論文リスト。

SOLA・・・以下の内容が報告された。

・2021年の論文投稿・公開状況(11月29日時点): 投稿論文数72編, 公開論文数46編, 印刷中8編。

・特別号企画, JMSJ 合同特別号「近年多発する極端気象に関する研究」: 論文投稿受付中。

表彰関連・・・以下の内容が報告された。

・部外表彰等候補者推薦委員会で推薦を検討する賞と候補者。

・名誉会員推薦について。

気象災害・・・以下の内容が報告された。

・防災学術連携体で, 防災科学の基礎講座のビデオ講座作成を検討中。

気象研究コンソーシアム・・・以下の内容が報告された。

・12月2日にデータ利用部会で気象庁のデータ利用, アーカイブの議論を行う。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

・2021年度春季大会ジュニアセッション(オンライン)の実施報告。

・気象サイエンスカフェ実施報告。ファシリテーターが良かった。

・夏季大学の開催報告。

・公開気象講演会の開催報告。

・気象教育セミナーを2022年1月9日に港区立みなと科学館で開催予定。

国際学術交流・・・以下の内容が報告された。

・2021年度下半期の旅費補助について。

電子情報委員会・・・以下の内容が報告された。

・11月11日に会員管理WG, 11月16日にサイトリニューアルを実施した。

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された。

- ・オンライン秋季大会期間中の12月2日に中手会，12月3日に女性会員の集いを開催予定。12月中に次の委員会を行う予定

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2022年 2月 15日

公益社団法人日本気象学会

理事長 佐藤 薫

監事 吉田 聡